



第 1369 回例会報告

平成26年6月19日(木)晴

会長挨拶

会長 平山隆勇

第 29 期を振り返って

29 期の初めの例会で、私のロータリー歴の中で、どうしても忘れることができない悪い思い出についてお話してしまいました。古いことを何も新しい年度のスタートの日に言わなくてもよいものと今は後悔していますが、私が幹事だった時に、10 名を超える多数の会員から 7 月 1 日付けの退会届が出されたことは、私にとって大きなトラウマでした。そんな私に同情して頂いたわけでは無いのですが、皆様のご協力により、今期は現在までに 5 人もの新入会員を迎えることができました。そして、新たにもう一人の入会候補者が先ほどの理事会で承認されました。幹事さんと 40 名の会員を目指そうと語り合ったこともありました。30 周年につなぐ年度として、少しでも次の方々がやりやすい環境を整えたいとの思いで、会員増強、年会費及びニコニコBOXのことなど、1 年間やってまいりましたが、事務局の設置等任期中に解決できなかったこともありました。とにかく、多くの会員の友情に感謝する 1 年でした。最終例会を待てず、今日お礼を申し上げたいと思います。

そして今日は各委員会の事業報告をして頂くこ

とになっていますが、どうか各委員長さんは胸を張って今年度の成果を発表していただきたいと思っています。

第 1368 回例会

事業報告例会

会長・幹事

【クラブ奉仕委員会】

委員長 御子柴文夫

「クラブ奉仕は、本クラブの機能を充実させるために、クラブ内で会員が取るべき行動に関わるものである。」と定款に記され、細則に「クラブ奉仕諸活動全部に対して責任を持ち、かつクラブ奉仕の各特定分野について監督、調整する任務を持つものとする。」「会員が、クラブ奉仕に関する事柄においてその諸職務を遂行するうえに役立つ指導と援助を与えるような方策を考案しこれを実施するものとする。」と記されております。

その実践のための役割を担当しており、結果概要をご報告申し上げます。

1.出席管理について

会員相互が向上する機会を得るために出席を求め、年間平均出席率 86.4%の見込みとなりました。出席ホーム100%5名、メーク込み100%16名

■出席報告

会員数	37名
出席対象	36名
出席者数	25名
出席率	69.4%
前回修正	86.1%

■ニコニコBOX

21名	24,000円
累計	1,162,000円
目標額	130万円
達成率	89.4%

■今週のことば

平山丸が無事帰港します。1年間の長い旅でしたがお疲れ様。ご苦労様でした。

大澤邦彦



が見込まれます、計 21 名の 100%達成者は会員の 6 割弱となり、出席意識が会員諸氏に根付いていると判断されます。

反面、無届欠席も多発しており、出席管理方法に改善が必要と反省しております。特に食事が無駄になることは由々しき問題でした。

2.ニコニコ BOX について

目標 130 万円を掲げましたが 5 月末に未達の敗北宣言を行いました。

クラブ運営費補填の働きもあるため、木戸銭的になっておりましたが、年会費とニコニコ BOX 運営についての検討がなされ、来期からは新たなニコニコBOX運営に切り替わって行く方向性が示されました。

3.親睦活動について

8 月納涼例会、9 月3クラブ合同例会、12月クリスマス例会、4月お花見例会、5月早朝例会を開催でき、家族相互並びに他クラブ会員との親睦が、天候に恵まれた中で開催できたことは喜びであり、会員皆様に感謝申し上げます。

4.プログラムの立案運営について

各委員会の担当例会回数を平準化して負担感を少なくするように努めました。関係団体との調整のために日程変更も発生しましたが、概ね計画通りに達成出来たことは各委員会のご協力の賜物と感謝申し上げます。

クラブ奉仕委員会はクラブ運営の黒子役です。少人数の委員会ですが 委員各位の持ち味が発揮されて1年間を過ごせたことに感謝し御礼申し上げます。

【職業奉仕委員会】

今期、職業奉仕委員会の主テーマとした「職業奉仕とは」を簡潔に理解するために、我が諏訪湖 RC 内でも経験、見識ともに優れた当委員会委員による卓話を中心に、事業展開することができました。また、会員増強においては、現会員一丸となって取り組んでいただき、活躍めざましい年代の会員の入会を見ることができました。



委員長 高山巖

会長幹事をはじめ、各委員長さんにご苦労いただき「会員セミナー用資料」を手作り冊子として作成しました。新会員はもちろん、熟知された会員も参考に利用して下さい。

参加するたびにわくわく感が広がる、諏訪圏工業メッセへの見聞参加を行いました。

恒例の会員健康診断は、例年より参加者が減少しました。健康に不安を持つ会員が減ったものと解釈しておりますが、油断することなく2名の会員医師に身を委ねましょう。

担当例会

7/25 三村昌暉会員による会員セミナー「ロータリーの職業奉仕理念と日本の商業道徳」

8/22 望月勉会員による会員増強について

10/17 諏訪圏工業メッセに参加

11/21 夜間会員セミナー及び新会員4名の卓話、予定会員の紹介

1/30 外部講師・井口エネルギー常務堀江信成様講演「石化エネルギーの今後」

2/27 大澤邦彦会員による卓話「職業奉仕について」

3/13 健康診断及び小笠原仁会員による卓話「ピロリ菌で・ほんとに大丈夫?」

【社会奉仕委員会】

委員長 萩田均

わたしたちロータリークラブメンバーは社会、地域と密接にかかわっています。平らな水面に小石を投げ、波紋が広がるがごとく、社会奉仕の小石を地域に投げつけなくては、ならないと信じ、1年間の活動をしてまいりました。

諏訪湖浄化運動に対しての取り組みでは、年間5回の諏訪湖清掃を予定していましたが、雨と雪により3回実施できませ

んでした。追加として春に1回、特別に実施でき年間3回の諏訪湖清掃が出来ました。諏訪湖清掃に



おいては流れてしまった活動ではありますが、ガールスカウトとの清掃活動及び湖上観察会が出来ず、残念でした。

環境の日、下諏訪中学校生徒との和田峠清掃活動は大変有意義な活動でした。下諏訪中学校からの申し出ではありますが、私達との取り組みを秋にもう1活動、諏訪湖清掃という形で実施していただきたいと依頼がありました。次年度の引き継ぎとさせていただきます。

河川、森林、里山整備への取り組みは、6月28日に下諏訪中学校の生徒と共に取り組みます。本年から次年度につながることで、高島小学校より小学4年生の子供たちと河川、森林、里山の環境問題の取り組みを共にしたいとの申し出があり、担任の大畑先生が今回の里山事業に参加していただき、今後の方向について話をしたいと考えています。

青少年奉仕委員会との共同事業により、環境問題の次世代への啓蒙という目的を幾分かは前進できたと思います。しかし、まだまだ、すべきことの積み残しをしてしまったことも確かです。会員皆様のご協力に感謝し、報告とします。ありがとうございました。

【国際奉仕委員会】

委員長 西澤賢二

会長方針“つなぐ”をKey Wordとして事業展開してまいりました。

1. 鍵盤ハーモニカの収集と寄贈 2. セブにおける音楽教育の普及

2014年11月にセブ島を訪問し、2012-13年度に収集された200台を8月に船便で輸送し、**プンタエンガノ小学校**と**ブアヤ小学校**に寄贈いたしました。

両校の担当の先生達は大変熱心で、それ以前に寄贈した各25台で鍵盤ハーモニカグループを組織し既に十分な演奏ができるようになっていました。また、ブアヤ小学校では盛大な贈呈式(Ceremony of Turn Over)が開催されました。

また、25台が現地事務局のダニロ氏によって隣の**コルドバ市教育委員会**に持ち込まれ、数校に

配られました。コルドバ市での展開を期待しているところです。

収集については小諸ロータリークラブの協力が得られ、101台の寄贈を受けました。会員の皆さんの協力を得、クリーニングが進み、現在約150台が輸送を待っています。

2. インターネット・スカイプを使った両国の子供たちの交流は下諏訪中学校では藤森先生の指導の下進められています。更なる拡大を願い、町内外の学校へ案内をしていますが、はかばかしい回答は頂いていません。

また地区より薦められたグローバル補助金使用は、補助条件および資金規模で相応しくないと判断しました。

3. ミンダナオ子供図書館財団(Mindanao Children Library Foundation)活動の調査・研究

将来の国際社会奉仕事業のための調査・研究ですが、9月に溝口、渡邊、長崎会員がミンダナオ島を訪問し、財団寄宿舍生活・活動を5日間体験すると共に、キダパワン市の3ロータリークラブを訪問し、親睦を図ると共に、世界社会奉仕活動の協働の可能性を探り、良い感触を得ました。現在、キダパワン・メロ・ロータリークラブとは、Mailのやり取りをしています。

尚、地区国際奉仕委員長である渡邊会員が地区内クラブへ支援の協働を呼びかけています。

4. デイ・ケア・センター支援

セブ島支援始まって以後続けているパリッシュ・オブ・トゥー・ハーツ・ファウンデーション(Parish of two hearts foundation)支援を本年度も4万円支援しました。

5. 米山奨学会寄付

米山財団寄付は岩村/大澤/河西/蒲地/長崎/西澤/林/溝口/山崎/渡邊/御子柴/成山会員のご協力を得、37万円、またクラブ本会計より10万8千円を寄付しました。(計47.8万円)

6. ロータリー財団寄付

ロータリー財団は高山/西澤/平山/溝口/吉澤会員のご協力を得、25万5千円を、クラブ本会計より9万1千8百円を寄付しました。(34.68万円:3400ドル)

7. 30周年記念事業の検討

国際奉仕関係での記念事業は、あらかじめ早めの取り組みをしておかないと実行委員会立ち上げ後では取り組めません。①セブでの鍵盤ハーモニカを使った音楽会 ②セブから、先生を招待、日本の学校視察を計画中です。



8. その他

諏訪ロータリークラブより米山奨学生、王さんの卓話要請があり、11月担当例会にお招きし実施いたしました。

【青少年奉仕委員会】

委員長 小口直久

1. 全6回の担当例会の実施
2. 下諏訪中学校職場体験学習支援 6事業所で 12名の生徒受け入れ
3. 職場体験学習の一環として、大澤会員に「働くとは」をテーマで講演
4. 社会奉仕委員会と協力し、下諏訪中学校生徒と和田峠清掃、里山整備事業を実施
5. 下諏訪町学校支援地域本部の事業協力
6. ガールスカウトへの活動資金提供
7. 諏訪ローターアクトとの交流
8. インターアクト・ライラ・ローターアクト地区大会への参加協力
9. 古切手、書き損じはがきの収集



【クラブ会報・雑誌広報委員会】

委員長 望月勉

本年の事業計画としまして、

「本年当委員会では例年通りウィークリーの発行に関して皆様のご協力のもと、より電子化を追求して効率化を図ると共に内容の充実を目指します。また、当クラブの広報という役目を全うするべく、対外に対して情報の発信を積極的に働きかけて当クラブの存在の周知に努め、会員増強の一助になる様に努めて参ります。

1. ウィークリーの刊行 講師への原稿依頼
2. ホームページ管理と対外広報活動
3. 「ロータリーの友」の活用
4. 写真記録とその管理

を基本に活動してまいりました。特に

「当クラブの広報という役目を全うするべく、対外に対して情報の発信を積極的に働きかけて当クラブの存在の周知に努め、会員増強の一助になる」ことを目指してまいりました。

当委員会の担当例会は計6回ありました。

1回目はロータリーの魅力と魅力を感じる事業

をテーブルディスカッションしていただき、情報発信マスコミ関係の方をリストアップいたしました。

2回目、3回目は市民新聞の薩摩建社長様と長野日報社の伴在堅時郎様にお越しいたいただき情報発信について、市民の方々が求めている情報、ロータリーとしての情報発信方法などの卓話をしていただきました。ロータリーの存在を一人でも多くの方に知っていただくために新聞などマスメディアに数多く露出コソ等を、マスコミの望んでいる情報、記事にしてもらえる情報、マスコミに取り上げられるコソ等を観点にお話いただきました。

4回目は会長・幹事と合同でクラブ内アンケートを実施いたしました。

5回目は当委員会の河西さんによりウィークリー全般についてお話いただきました。

6回目は同じく当委員会の尾上さん、近江さんに卓話をいただきました。

一年間を振り返ってみて、本来の目指した目的を達成しうる事業を十分に行えなかったと思い、残念です。何事も積極的に行うことが大切で、情報発信も例外ではなく、こちらから進んで発信することが大切なのではないか、と感じました。今後はフェイスブックページの開設なども検討してみるのも良いと思います。

【SAA】

松澤 康夫

和やかで秩序正しく、品格ある例会になる様に心掛けながら務めさせて頂きましたが、不慣れな為にもたつきながらの進行役でした。会長、幹事、各委員長さんには大変ご迷惑をお掛け致し申し訳ありませんでしたが、皆様の適切なサポートのお陰によりまして、一年間過ごすことができました。

本当に有難うございました。

又、会員各位におかれましては絶大なるご協力とご指導を賜りまして深く感謝申し上げる次第でございます。

有難うございました